



たかむく 2023

明章小学校
学校だより第16号
令和5年10月24日

明日はマラソン大会

明日は予定通りマラソン大会を行うことができそうです。

子供たちは、火、金曜日のふれあいタイムにグラウンドを走ったり、体育の時間に試走したりと練習に取り組んできました。子供たちのマラソンカードを見ると、通算で100周以上グラウンドを走った子もいます。明日はそのがんばりを自信にして、最後まで歩かないで走りきってほしいものです。



マラソン大会は、体力の向上や嫌なことから逃げない強い気持ちを育てることを目標に行っています。大切なことはマラソン大会に参加して完走することです。順位や記録の向上を狙うこともとても大切ですが、「疲れた～もう歩きたい。」という弱い自分に負けないで走りきるの方が大切です。歩くことなく、無理のない速さでゴールを目指しましょう。ご家庭でも最後までがんばって走りきったことを大いにほめてあげてください。

つらい気持ちから逃げないこと

スポーツでも勉強でも、自分が今持っている力を発揮して、さらに力が伸びるように努力することが大切です。マラソンの場合だと「これ以上速く走れない」と子供たちはすぐに弱音やあきらめを口にしてしまいますが、力を伸ばすためには簡単にあきらめしないで、つらい状況に耐えて力を発揮することが必要です。

子供たちの力はどこまでも伸びる可能性があります。小学生の間には、その可能性を簡単につぶさないでほしいと思います。嫌がらず、結果が出るまで我慢することができれば、今よりもたくさんできることが増えるはずですが、でも、子供たちはすぐネガティブな言動をしてしまいます。「自分は頭が悪い」とか「あんなに速く走るのは無理」とか、やらないあるいはやれない理由を口にします。あと「楽しくない」もよく聞きます。やればできるようになるのもったいないなと思います。

現代は子供たちに我慢させて嫌なことをさせることが難しい時代になってしまいました。昔は、有無を言わず子供たちに強制的にいろいろなことをさせていました。保護者の皆さんの多くは、そのような教育を受けてきたのではないのでしょうか。それはそれで結果が出ていれば、子供たちのためになっていたかもしれません。しかし、現在はそういうやり方はあまり推奨されません。厳しく指導するだけでなく、子供たちをいかにしてやる気にさせるか工夫する必要があります。本当に嫌ならしくなくてもいい場合もあります。難しいのは、何かできるようになるためには多少なりともつらい気持ちに打ち克つ必要があるということです。嫌だからといって取り組まなければいけないことは増えません。マラソンは嫌かもしれませんが、がんばって完走してほしいと思います。